

## 令和3年度高知県高等学校体育大会

### バスケットボール専門部新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

本専門部の主管大会における新型コロナウイルス感染対策を下記の通り定める。

#### 1 全般的な事項

- ①実施専門部は、感染防止のために実施すべき事項や参加者が厳守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
- ②実施専門部は各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- ③参加校のエントリー選手・帯同部員（補助員）・引率者・監督・外部指導者等（以下「大会参加者」という）は、【様式1-①②】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックし、大会初日には【様式2-①】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認についてと【様式1-①②】の写しを大会本部に提出すること。また、大会日毎に【様式2-②】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についてを大会本部へ提出すること。万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、【様式1-①②】の原本について、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ④実施専門部は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報に十分注意しながら、大会参加者から提出された【様式2-①②】の原本および【様式1-①②】の写しについて、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ⑤大会役員等は【様式1-③】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈大会役員等〉（個人書式）を大会終了日までチェックし、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。なお、チェック期間に体調不良等が生じた場合には競技担当者へ連絡を取り参加の可否について確認すること。また大会終了後2週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。
- ⑥参加校及び実施専門部は参加者に陽性者・濃厚接触者が確認された場合、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑦参加校は大会終了後も【様式1-⑤⑥】高体連主催大会参加後 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を用い、2週間に渡りチェックを継続し、大会終了後1月以上保存すること。

また、大会終了後2週間以内に陽性者・濃厚接触者・接触者が発生した場合には、実施専門部に対して速やかに報告すること。実施専門部は報告を受けた場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。

- ⑧取材や写真撮影を希望する団体は事前に実施専門部へ連絡するとともに【様式1-④】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票（取材団体等）をダウンロードし、各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックすること。大会当日は各競技受付へ【様式1-④】提示し、参加者名簿へ必要事項を記入したのち入場すること。大会終了後2週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。

### 【様式取扱一覧】

[高知県高等学校体育連盟 HP <http://www.kochinet.ed.jp/kochi-htaiiku/>] より DR 可

様式	作成者	内容	保存場所	保存期間
【様式1-①②】	参加校	・2週間体調チェックし作成。 ・専門部の求めがあれば提出。	各校顧問	大会終了後1月
【様式1-③】	大会役員 等	・2週間体調チェックし作成。 ・専門部（顧問）の求めがあれば提出。	作成者	
【様式1-④】	取材団体 等	・2週間体調チェックし作成。 ・各会場受付にて提示（用紙は記載者保管） →会場の受付簿へ記載。	作成者	
【様式2】	参加校	・参加校が大会日毎に専門部へ提出。	専門部	

※【様式2】は提出がない場合、原則試合への出場が認められないので各校顧問は注意すること。

## 2 入場者の取り扱い及び注意事項について（図A参照）

- ・本大会は無観客で実施される。
- ・本大会において入館できるのは、所定の手続きを行った大会役員、コーチ、Aコーチ、マネージャー、エントリー選手、引率責任教員、報道記者、各校卒業アルバム業者カメラマンである。
- ・参加者は、試合開始1時間30分前より受付にて手指消毒・検温・書類（高体連HPよりダウンロード）提出を行い入館する。競技終了後は、自チームが使用したベンチの除菌（各校で準備）を行った後、速やかに退館すること。
- ・各チーム、コート上の選手以外のマスクの徹底をすること。
- ・食事は、ソーシャルディスタンスを心がけるとともに、他校と接触したり大人数になることのないように注意すること。

- ・春野体育館・高知市体育館とも一般の方の施設利用があります。集団で固まったり、大きな声での会話、マスクエチケットなど迷惑行為のないようご指導願います。
- ・簡易抗原検査キットは、各校にエントリー数プラス選手変更3人分が直接送られます。選手変更は21日17時まで可能です。変更してエントリーする可能性のある選手もエントリー選手とともに簡易抗原検査をしておくことをお勧めいたします。余った簡易抗原検査キットは各校で保管しておいてください。後日回収します。また、足りない場合は高体連事務局に直接お問い合わせください。
- ・検査結果により前日または当日になって、試合に参加できなくなるケースが出てくることをお知りおきください。
- ・大会終了後、2週間は県体参加者の健康観察を行うこと。

図 A

令和3年度第74回高知県高等学校体育大会に係る観戦について（*高知県内の感染拡大状況によって延期及び中止する場合があります。）			
県のステージ	学校や観戦者（保護者等）にお願いすること	各競技専門部が行うこと	観戦者の入場の可否について
			エントリー外の部活動生徒 禁止
緊急事態			
特別警戒			
警戒	<p>【健康確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観戦希望者は学校（顧問や校内担当教員等）より指定様式1-③を受け取り、観戦予定日2週間前～観戦最終日まで体温・体調等を記録する</li> <li>↓</li> <li>○観戦希望者は様式1-③を観戦最終日より1月保管し、主催者等からの求めに応じて提出できるようにする</li> <li>↓</li> <li>○顧問又は学校担当教員は主管専門部が示した運用方法を確認し（許可証や一覧表等）来場の手続きを進める</li> </ul> <p>○COCOA（アプリ）のインストール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陽性者が発生した場合、スマホに連絡が来るようになるため、インストールを推奨する</li> <li>・COCOA（アプリ）のインストールが「済」でない方、又はスマホをお持ちでない方は、会場で陽性者が発生した場合に、許可証に付随していた観戦予定者申請書をもとに学校から連絡することがある</li> </ul>	<p>○入退場ゲートの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入場者（許可された方）の確認</li> <li>・検温（人員配直し検温を行う）</li> <li>※県のステージが「注意」または「感染観察」の場合、検温は来場者によるセルフ形式でも可</li> <li>・消毒液、マスクの準備</li> </ul> <p>○観戦するエリアを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会運営エリアと観戦エリアの区別</li> <li>・観戦者の座席数（収容人数）の把握</li> <li>…等</li> </ul> <p>○会場内の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観戦者が密にならないようアナウンス等、適宜注意を促す</li> <li>・観戦方法の周知徹底（大声での声援禁止等）</li> <li>・収容人数の調整</li> <li>…等</li> </ul>	<p>○観戦者の受入対応が可能な競技は可</p> <p>○選手と観戦者とが密にならない会場は可</p> <p>【具体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外会場で観客席がある場合</li> <li>・屋内会場でも試合場と観客席が一定以上の距離が取れる場合…等</li> <li>※状況によって入場できる観客数を制限する場合がある</li> </ul> <p>○観戦が不可の会場もある</p> <p>（競技会場日程一頁参照）</p> <p>【具体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の座席数が少ない場合や、観戦エリアが設定できない場合</li> <li>・運営上、専門部が入退場ゲートに人員配置ができない場合…等</li> <li>※県のステージが「注意」または「感染観察」の場合、検温は来場者によるセルフ形式でも可</li> </ul>
注意	<p>○入場時の検温</p> <p>○入退場時の手指消毒</p> <p>○マスク着用</p> <p>○大声での声援は禁止</p> <p>○応援する選手・チームの試合が終わりたい、会場を退出すること（会場内を最少人数に止める）</p>		
感染観察	<p>○会場内での飲食は禁止</p> <p>○一般生徒の観戦が認められた競技会場で観戦する場合は、生徒であることが分かるよう制服で観戦する</p> <p>…等</p>		
		<p>（イベントの開催制限）</p> <p>高知県対策本部会議</p> <p>人数上限→会場収容定員の50%以内</p> <p>（R3.4月末まで）</p>	<p>（一般生徒および一般観客の観戦について）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、安心・安全な大会運営を第一に検討を重ねた結果、本年度高知県高等学校体育大会においては、保護者等のみの観戦受け入れとする。</p>

### 3 競技運営上の感染対策留意事項

高知県バスケットボール協会 U18 部会及び高体連バスケットボール部  
県体における「新型コロナウイルス感染症防止対策」ガイドライン

#### I. 基本方針

新型コロナウイルス感染症対策は、個人防衛、集団防衛、社会防衛の3つの見地から考えます。重要なのは、選手・コーチ・監督・スタッフを守る、観客を守る、選手・コーチ・監督・スタッフ、観客が感染クラスターになることを防ぐ、そして“日本のスポーツ文化を守る”という視点から、新型コロナウイルス感染症に対する対策・対応を考えていくことが重要であると考えます。

#### II. 対策を考える上での重要事項

##### 1. 新型コロナウイルス感染症の感染経路について

- (1) 飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）
- (2) 接触感染（手で触れることによる感染）

##### 2. 新型コロナウイルスの感染を促進する“3要因”

- (1) 多くの方が集まる状況での濃厚接触（手が届く範囲での交流）
- (2) 近距離での咳・くしゃみ、おしゃべり、発声
- (3) 換気の悪い密閉空間

##### 3. 感染のリスクが高まる環境・状況

- ・公共交通機関による移動
- ・体育館（更衣室・トイレ・会議室・応援席）

##### 4. 新型コロナウイルス感染症に対する一般的な予防方法

- (1) 人ごみを避ける
- (2) 手洗いの励行
- (3) 口・鼻・目に不用意に触れない
- (4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事

#### III. 選手・関係者への対応

##### 1. バスケットボール選手に特徴的な感染リスク要因

- ・活動（練習・試合）中での人ごみ

- ・身体的負荷（過酷なトレーニング）と精神的負荷（緊張）
- ・スケジュールなど（時間、日程）
- ・集団での移動

## 2. バスケットボール選手およびチームに求められる感染予防対策

選手本人だけでなく、選手と頻繁に接する方々も同様の対応が必要です。特に、家族を含めた対策の徹底が重要となります。

### (1) 毎日の健康チェックと行動記録

- ・体温測定、体調チェック（倦怠感、咳、咽頭痛、食欲低下の有無、睡眠時間など）
- ・行動記録（場所・同行者などの記録）

### (2) 手指衛生の励行

- ・消毒用アルコール剤による手指衛生の励行が原則です。流水と石鹸による手洗いでも十分な予防効果が期待できます

### (3) 出来るだけ人ごみを避ける

- ・人ごみに入る場合にはマスク着用

### (4) 施設の空調・換気状態の把握と可能な対策

### (5) 更衣室（ロッカー室・シャワー室）ベンチなどでの濃厚接触の回避

- ・更衣室（ロッカー室・シャワー室等）の時間差利用、可能な限りヒト-ヒト間隔がとれるよう配慮する
- ・試合及び練習における飲水用ボトル等、感染リスクが高い物品の共有を回避
- ・ファインプレー等でのハイタッチ、ハグ等、感染リスクの高い応援行為の回避
- ・治療等の目的で行う行為については、ゴム手袋の着用

### (6) 更衣室（ロッカー室・シャワー室）ベンチ、トイレなどにおける環境消毒とタオルなどのリネン管理の徹底

- ・高頻度接触面に対して環境消毒を行う
- ・タオルなどのリネンの共用は避ける。
- ・トイレ個室に便座クリーナーまたはアルコール消毒スプレーを配備。利用者には毎回の使用を呼びかけ

### (7) 選手、チーム関係者、家族に対する教育・啓発と意識改革

- ・公共交通機関などでの移動時の換気、空間遮断による濃厚接触の回避
- ・マスクを使用する際の付け方、外し方、交換のタイミング、手指衛生を学ぶ（指導する）
- ・人ごみに入るなど濃厚接触が生じた場合の記録

## IV. 観客の皆様への対応

## 1. バスケットボール観戦の観客に生じる感染リスク

- ・不特定多数の集団が集まる
- ・人込みにおける不特定多数との遭遇・接触
- ・試合観戦中の濃厚接触状態

## 2. バスケットボール観戦の観客に対する感染予防策

- ・発熱、咳、倦怠感、咽頭痛などがみられる場合には観戦をご遠慮いただく。  
自分を守るだけでなく、多くの仲間、選手を守ることを理解の徹底
- ・入場時の濃厚接触を減らすためのゾーニング  
入場エリア制限（選手との差別化、及び混雑緩和）、応援時間規制による混雑解消など
- ・会場内でのマスク着用の呼びかけ  
飛沫感染予防のためにマスク着用を義務付ける
- ・観戦時の濃厚接触を減らす工夫  
座席制限によるヒト-ヒト間隔の確保（隣との席を空ける）
- ・応援歌合唱、鳴り物使用の応援スタイルの変更（観客同士のハイタッチ等接触の回避）
- ・健康管理及び行動の記録等への理解と協力をいただく。

[応援スタイルのリスク評価例]

### ▽感染リスク高

- ・肩組み、飛び跳ねなど集団での動きの伴う応援⇒（接触感染リスク）
- ・立ったり座ったりを繰り返す集団での動きの伴う応援⇒（接触感染リスク）
- ・指笛の応援⇒（飛沫感染リスク）
- ・ラッパ・ホイッスル等の鳴り物応援⇒（飛沫感染リスク）
- ・メガホンを打ち鳴らしながらの声援（自然に歓声が大きくなる）⇒（飛沫感染リスク）
- ・ビッグプレー、ファインプレー等での観客のハイタッチ⇒（接触感染リスク）
- ・両手をメガホン代わりにした大声での声援、応援⇒（飛沫接触感染リスク）

## V. 感染拡大防止対策

### 1. 事前準備

- ・参加選手及びスタッフ名簿作成
- ・観戦者名簿作成及び、入館許可証発行
- ・感染防止マニュアル、体調管理表作成配布
- ・消毒、検温用具準備

※高知県バスケットボール協会 U18 部会及び高体連バスケットボール部県体における「新型コロナウイルス感染症防止対策」ガイドラインは、日本バスケットボール協会及び高知県

バスケットボール協会ガイドラインをもとに作成したものである。